

令和6年4月1日(月)  
定例市長記者会見

13時10分から  
市庁舎東館8階 802会議室

TOYAMA CITY

## 発表項目

1. 4月からの幼児教育・保育の新たな子育て支援について  
【こども家庭部 こども保育課】
2. 富山市オーガニックビレッジ宣言について  
【農林水産部 農業水産課】
3. 「南富山駅周辺まちづくりビジョン」の策定について  
【活力都市創造部 都市計画課】
4. 市営コミュニティバスの利便性向上について  
【活力都市創造部 交通政策課】
5. 「プラスチック資源一括回収」の開始について  
【環境部 廃棄物対策課】

# 育休退園制度の廃止について

令和6年4月から、児童の年齢や育児休業期間にかかわらず、  
保育所の継続利用が可能となります。

年齢区分	変更前		変更後 (R6.4.1～)
	育児休業期間	継続利用可否	
5歳児	不問	継続可	児童の年齢や 育児休業期間に かかわらず継続可 (施設長の意見不要)
3, 4歳児	1年以内の期間	継続可能 (施設長の意見必要)	
	1年を超える期間		
0～2歳児	1年以内の期間	退園	
	1年を超える期間		



## 第3子以降の保育料の完全無償化について

令和6年4月から、第3子以降の保育料について  
所得制限を撤廃し、すべての世帯で無料とします。

区分	変更前	変更後 (R6.4.1~)
年収約640万円未満	無料	無料
年収約640万円以上	半額	



## 保育所等における児童の副食費の軽減について

食材料費の高騰が続く中であっても、保護者の負担が増えないよう、保育所等に通う3歳以上児童の副食費軽減について支援します。

【支援額】保育認定児童1人当たり月額700円  
教育認定児童1人当たり月額500円



- ◆ 私立保育所等への支援(副食費負担軽減事業補助金)
  - ▶ 在籍児童の副食費を支援額分減額して集金する保育所等に対し、減額相当額を助成します。
- ◆ 市立保育所等を利用する家庭への支援
  - ▶ 副食費を増額改定した上で、集金額は据え置きます。  
(保育認定:4,500円→5,200円、教育認定:3,400円→3,900円)

# 富山市オーガニックビレッジ宣言について

## ◆ 概要

本市で有機農業を推進するため、令和10年度を目標年度とする「富山市有機農業実施計画」を策定したことから、「富山市オーガニックビレッジ宣言」を行い市内外に広く周知するもの。



## 「富山市有機農業実施計画」の目的

- ◆ 有機農業の取組拡大により、環境の面から「持続可能な付加価値創造都市」の実現に寄与する
- ◆ 有機栽培農産物のうち、特に米やえごまについては、より付加価値を向上させる手段として、有機JAS※の認証取得を進める

※有機JAS：JAS法に基づき、「有機JAS」に適合した生産が行われていることを第三者機関が検査・認証したもの



## 実施計画の主な取組内容

### ◆ 生産拡大

有機米、有機えごま栽培技術研修会の開催

有機JAS認証取得勉強会の開催と取得経費支援

有機農業用機械の導入支援 など



### ◆ 消費拡大

有機米等の学校給食利用

富山えごま油の飲用市民モニター など





## 実施計画の主な目標



### ◆ 5年後に目指す主な目標

#### 有機農業取組面積

全品目 令和4年 99.3ha → 令和10年 130ha

#### うち、有機JAS取組面積

米 令和4年 74.6ha → 令和10年 85ha

えごま 令和4年 0 ha → 令和10年 5ha

## 富山市オーガニックビレッジ宣言

富山市では、富山湾から標高 3,000m級の北アルプス立山連峰までの雄大な自然が育む豊富な水資源を活かし、お米を中心とした多様な農産物が生産されています。

また本市は、全国に先駆けてSDGs未来都市に選定され、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを深化させながら「持続可能な付加価値創造都市」を目指しております。

生物多様性を重視し地域資源の循環等を図る有機農業は、現在本市の中山間地域等で取り組まれておりますが、この農業が今後、市内各地域に広がり、次代へ継承されることは、本市が目指す持続可能なまちづくりに繋がるものです。

私は、地域と一体となり有機農業に取り組みやすい環境を整えることで、生産性と持続性が両立した自然と調和する農業の実現を目指すことを誓い、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。



(別紙参照)

# 「南富山駅周辺まちづくりビジョン」の策定について

## ◆ 目的・概要

南富山駅周辺の10年先を見据え、**活力と魅力あるまちへ再編することを目的**に、これからのまちの方向性を示し、多様な主体が共有し合える指針となる将来ビジョンを策定

## ◆ 対象範囲 南富山駅周辺から半径500m

## ◆ 策定・公表日 令和6年4月1日



## 策定に向けた進め方について

### ◆ 策定体制など

①南富山駅周辺まちづくり関係者協議会での意見聴取

②まちづくり対話会の実施

③シール投票の実施

④富山いずみ高校との協働  
(南富山駅周辺を題材とした課題解決学習)

⑤駅周辺事業者へのアンケート調査



## エリアコンセプトについて

エキ、マチ、ジブン。  
南富山で始める。南富山から始まる。



南富山は路面電車や鉄道、バスなどの多様な公共交通が交わるまち。  
市内有数の文教地区で、多くの子供や学生の姿が見えるまち。

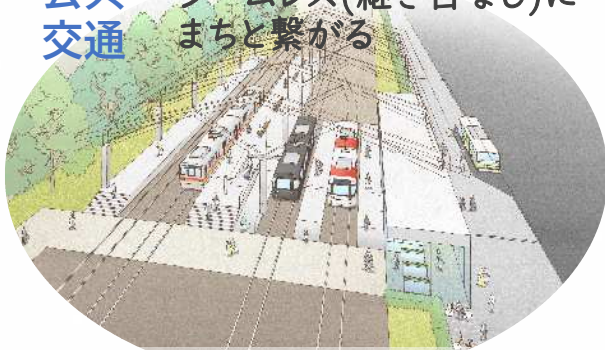
朝夕の通勤や通学、休日の家族とのお出かけ、入学と卒業の出会いや別れ…  
毎日、毎週、毎年の暮らしの“始まり”が南富山にある。  
これまで南富山で育まれてきた、みんなの暮らしの重なりは、  
まちに「懐かしさ」と「新しさ」という彩りを与えてきた。

これからの未来に向けても、駅、まち、自分の“起点”を南富山にしていく。  
富山の新たな地域性と価値が生まれるまちを目指して。

# 5つの未来像について

## 公共交通

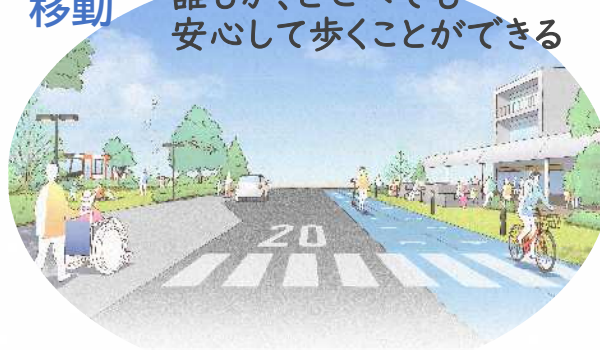
シームレス(継ぎ目なし)に  
まちと繋がる



市内電車や鉄道、路線バスなどの結節力と利便性を高め、様々な場所にアクセスしやすい環境の実現を目指します。

## 移動

誰もが、どこへでも  
安心して歩くことができる



十分な幅員や段差のない歩行空間がつながり、自動車にとっても安全に移動できる環境の実現を目指します。

## 居住環境

住みたい、住み続けたい  
安全で豊かな環境が整っている



安全に住み続けられるインフラが整い、身近な自然や地域との繋がりが感じられる環境の実現を目指します。

## 暮らし

まちの中に自分らしく過ごせる  
場所や目的がある



日常の中に、誰もがいつでも居られる空間や立ち寄りたくなる場所があり、出掛けたくなる環境の実現を目指します。

## 付加価値

新しい学びやチャレンジに  
触れる、できる、したくなる



多様な世代や主体が協働し、南富山のポテンシャルを活かした新しい価値や意欲が生まれる環境の実現を目指します。

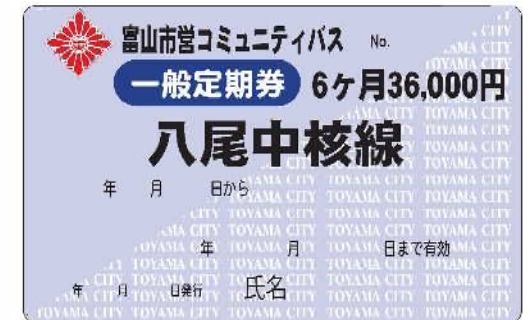
# 市営コミュニティバスの利便性向上について

- ◆ 概要 地区センターに停留所を設置  
中学生以下の運賃無料化  
定期券の導入



停留所

- ◆ 開始日 令和6年4月1日



定期券

## 地区センターへのアクセス性向上について



### ◆ 停留所新設地区センター 市営コミュニティバス

- ・大山地域  
小見、大庄
- ・八尾地域  
室牧、野積、仁歩、大長谷、  
黒瀬谷(6月から)

### 地域自主運行バス

- ・婦中地域  
婦中熊野、古里、音川、神保



## 使用料の改定について

- ◆ 中学生以下の運賃無料化
- ◆ 定期券の導入



PRステッカーイメージ

	1カ月定期	3カ月定期	6カ月定期
一般	6,000円	18,000円	36,000円
通学用 (高校生)	3,000円	9,000円	18,000円



大山、八尾各バス管理センターで販売中

# 「プラスチック資源一括回収」の開始について

## ◆ お知らせ

令和6年4月1日スタート  
プラスチック資源の分け方・  
出し方が変わりました。



エコケロ©

正しく分けて  
リサイクル!

今日から、プラスチック資源はまとめて出してください。

これまで

資源物(リサイクルするもの) **月4回**  
プラスチック製容器包装

このマーク  
が目印

ペットボトルのキャップやラベル、魚や肉などのトレイ、  
白色パック、お菓子の袋、卵のパック等

燃やせるごみ **週2回**  
プラスチック製品

容器包装以外の  
プラスチック製品

プラスチック製のバケツ、歯ブラシ、コップ、  
食品保存容器、スプーン、ハンガー等のプラスチック製品

資源物(リサイクルするもの) **月4回**  
プラスチック資源

商品を入れてあったもの(容器)や包んであった(包装)  
で、プラスチック製のもの。

+

全てがプラスチック製であり、一辺の長さが**50cm以内**  
の製品(プラスチック製品)。

まとめて透明または  
半透明の袋に入れて  
お出してください。